

能「熊坂」辻井八郎
(撮影:辻井清一郎)



能

熊坂
【くまざか】
辻井八郎(金春流)

狂言

酔薑
【すはじかみ】
善竹十郎(大蔵流)

第一部

12時30分開場
13時00分開演

第122回

川崎市定期能

2021年3月20日(土・祝) 会場:川崎能楽堂

入場料:各部 4,000円(全席指定) U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

能

井筒
【いづつものぎ】
物着
本田光洋(金春流)

狂言

寝音曲
【ねおんきょく】
善竹十郎(大蔵流)

第二部

15時30分開場
16時00分開演



能「井筒」本田光洋
(撮影:辻井清一郎)

【チケット発売日】

2021年2月12日(金)午前9時より川崎能楽堂 電話・ホームページにて発売(先着順) *残券があれば、翌日川崎能楽堂窓口でも販売いたします。

*回線混雑のため、電話が繋がるまでにお時間をいただく場合がございます。*ホームページからお申し込んだ場合、座席指定はできません。*販売座席につきましては2月上旬に決定いたします。

※お電話もしくはホームページで申込完了後、代金を振込でお支払いいただく際は、郵便局備え付けの払込取扱票に下記内容をご記入の上お振込ください。

入金を確認後、チケットを郵送いたします。(チケット郵送料、振込手数料はお客様のご負担となります。)

☆口座記号:00260-7 口座番号:0021528 ☆加入者名:公益財団法人川崎市文化財団 ☆代金:●,●●●円(送料の切手代●●円を含む)

☆通信欄:第122回定期能 チケット●枚 ☆ご依頼人:お客様のご住所・お名前 ※●の数字はお申込の際にお伝えいたします。

【チケット取扱・お問合わせ】

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00(水曜定休日)

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20210320/>

主催 公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルスの影響により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。



定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が実演つきでわかりやすく解説します。

◆日時:2021年3月13日(土)10:00~11:30

◆講師:高橋 忍(金春流・シテ方)、

◆定員:調整中(先着順)

◆会場:川崎能楽堂

山井 綱雄(金春流・シテ方) 他

◆料金:無料

*第122回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。*受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

狂言 醉 薑
シテ 醉売り 善竹 十郎
アド 薑売り 野島 伸仁

能 熊 坂
前シテ 僧 辻井 八郎
後シテ 熊坂長範の霊
ワキ 都の僧 野口 能弘
アイ土地の人 善竹大二郎
大鼓 柿原 光博
小鼓 鳥山 直也
太鼓 吉谷 潔
笛 栗林 祐輔

後見 高橋 忍
井上 貴覚

地謡 中村 昌弘
山井 綱雄
本田 芳樹
本田 布由樹
鎌田 氏勝

狂言 醉 薑【すはじかみ】

都へ商売にいく途中の薑売りと酔売りが道で出会い、お互い薑、酔の由緒の正しさを語るのです。都までの道中、秀句（洒落）を言いつつ勝負をつけることにします。薑売りは「から」、酔売りは「す」をおりこみ巧みな秀句を言いあい…。

能 熊坂【くまさか】

都の僧が東国に下る途中、美濃国赤坂まで来た時、一人の僧に呼びかけられ、今日が命日の者のための回向を頼まれ、ついでのその僧の庵室に案内されます。その庵には仏像がなく、武器が並べられています。不審に思い尋ねると、このあたりは山賊が出没するので、そのために備えているといひます。そして「おやすみあれ」と何処となく去っていきます。僧は、丁度来合わせた土地の人から、この地で討たれた熊坂長範の話聞き、以前の僧は熊坂の靈であったと思い、読経し回向をします。すると、長範の亡靈が現れ、金売吉次一行を襲ったが、牛若のために討たれた次第を語り、松陰に隠れるように消え失せます。

狂言 寝 音曲
シテ 太郎冠者 善竹 十郎
アド 主 善竹大二郎

能 井 筒
前シテ 里女 本田 光洋
後シテ 紀高の娘の霊
ワキ 旅の僧 野口 能弘
物着
大鼓 柿原 光博
小鼓 鳥山 直也
太鼓 栗林 祐輔

後見 本田 芳樹
大塚龍一郎

地謡 中村 昌弘
金春 憲和
高橋 憲和
辻井 八郎
後藤 和也

狂言 寝 音曲【ねおんぎょく】

通りすがりに太郎冠者の謡を初めて聞いた主人は、翌朝早速謡うように命じます。太郎冠者は、今後たびたび謡わされては困ると考え、酒を飲んだうえ、膝枕でなければ謡えないと嘘をつきます。謡が聞きたさに主人は酒を飲ませ、膝を貸します。冠者は謡い始めますが、寝てはよい声で謡い、そつと起こすとかすれた声を出します。調子にのつた冠者は取り違えて…。

能 井筒【いつつものぎ】

旅の僧が、奈良から初瀬へ行く途中、在原寺に立ち寄り、業平と妻の紀有常の娘を弔っていると、一人の里女が現れ、井戸の水を汲んで古塚に手向けています。僧が不思議に思いつ尋ねると、女が業平の墓であると教えるので、業平ゆかりの者かとたずすと、女は否定をしつつも次のような事を語ります。業平は紀有常の娘と契りながらも、一時、高安の里の女の許に通っていたが、自分の身を案じてくれる妻の心にうたれて、元に戻った話や、幼い頃、この井筒のそばで二人遊びたわむれたが、幼なじみの親しさが恋になり、歌を詠みかわし夫婦になった話などをします。そして、自分こそ井筒の女と呼ばれた有常の娘だと名乗って、井筒の陰に姿を消します。僧は、回向をして、仮寝をすると井筒の女の霊が、業平の形見の衣裳をつけて現れ、舞を舞い、業平の面影をなつかしみますが、やがて夜明けとともにその姿は消え、僧の夢も覚めぬ。

次回公演のお知らせ
人間国宝の競演
～友枝昭世と山本東次郎の至芸～
開催日：2021年5月3日（月・祝）
会場：川崎市麻生市市民館大ホール
（小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分）
演目：狂言「萩大名」山本東次郎
能「清経」友枝昭世
解説 馬場あき子

第46回川崎大師薪能
開催日：2021年5月27日（木）17時半開演
会場：大本山川崎大師平間寺 特設舞台
（雨天時：信徒会館）

第123回川崎市定期能～喜多流～
開催日：2021年8月8日（日・祝）
※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。

※販売座席につきましては2月上旬に決定いたします。

E	D	C	B	A	1	2
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	10
5	6	7	8	9	10	11
6	7	8	9	10	11	12
7	8	9	10	11	12	13
8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	14	15
10	11	12	13	14	15	16
11	12	13	14	15	16	17
12	13	14	15	16	17	18
13	14	15	16	17	18	19
14	15	16	17	18	19	20
15	16	17	18	19	20	21
16	17	18	19	20	21	22
17	18	19	20	21	22	23
18	19	20	21	22	23	24
19	20	21	22	23	24	25
20	21	22	23	24	25	26
21	22	23	24	25	26	27
22	23	24	25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29
24	25	26	27	28	29	30
25	26	27	28	29	30	31

※U25券は脇正面席・中正正面席のみ選択可。

川崎能楽堂座席表(148席)

JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995